

# なみびあ通信

第2号

2019年11月3日

カメル小学校 福島嵐

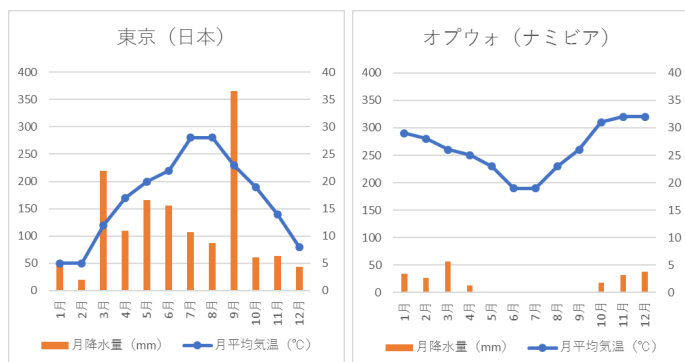


南部アフリカのナミビアでは、久しぶりに雨が降りました。5月に雨を見なくなってから約半年、長く厳しい乾季が続いていました。久しぶりの雨で、町の植物も緑色が鮮やかになったように見えます。雨が少ないので木も少ないのですが、半年もの間、雨が降らなくても大丈夫なよう、気候に順応して成長してきた力強さを感じます。オプウォの人達も雨が大好きです。雨が降るととても嬉しそうで、「今日はいい天気だね」「雨が降ったね」と伝え合います。

後半は、私の配属先、カメル小学校を紹介します。オプウォの町には大きな道が2本あり、T字路を作っています。一番にぎやかなメインロードを少し離れると、クリーム色の壁に日本とナミビアの国旗が描かれた校舎が見えます。協力隊員が赴任する前に、日本の援助で校舎の一部2クラス分が建築されたことから、国旗を描いて日本とのつながりを紹介してくれています。2014年に初代の協力隊員が赴任し、二代目、そして三代目の私と、隊員が交替しながら活動しています。



以前は4~7年生の高学年だけの学校でしたが、今は年長さんから7年生まで約620人が通学しています。年長クラスが1クラス、1~4年生が各2クラス、5~7年生が各3クラスあります。



東京とオプウォ、二つの町の雨温図を作ってみました。情報元は、気象庁と World Weather Online の2018年のデータです。ナミビアは南半球に位置するので日本とは季節が逆で、気温が下がる5月~9月に雨が全く降らない乾季を迎え、気温が上がる10~4月には雨が期待されます。それでも年間の降水量は200mmほど。東京の降水量のひと月分かふた月分か...ほんのわずかだということが分かります。



ナミビアは北にアンゴラ、南に南アフリカ、東にザンビアとボツワナとの国境を有します。特に雨の多いアンゴラから流れてくる北部の川は、貴重な水の源になっています。

! Karate !



1時間目は7:20から。40分授業が4コマあり、10:00から休憩時間。休憩時にはトウモロコシの粉をぐつぐつと煮ておもちのようにしたパップが子ども達に配られます。その後はまた40分授業が4コマあり、13:20に学校が終わります。元気な子ども達の様子や活動のこと、町のことなどをまたお伝えしていけたらと思います。

